

試合番号 :	655	試合会場 :	上田自然運動公園総合体育館	観客数 :	472
開始時間 :	12:00	終了時間 :	13:54	試合時間 :	01:54
主審 :	浜野 陽一	副審 :	柄澤 大輔		
群馬グリーンウイングス	通算 1 勝 1 敗 ポイント : 3	25 第1セット 19 24 第2セット 26 25 第3セット 19 25 第4セット 18 第5セット	3	1	フォレストリーヴズ熊本 通算 0 勝 1 敗 ポイント : 0
監督コメント	本日もありがとうございました。サーブとブロックが最後まで攻め込めたことでグリーンウイングスらしいプレーができました。試合、試合チャレンジしてまいります。引き続き応援よろしくお願いたします。				
監督コメント	非常に悔しい敗戦だったが、完全に全てのプレーで下回った。そして、気持ちの面でも上回ることができなかった。来週の地元熊本大会に向けてしっかり準備したい。たくさんの応援に応えることができるよう、ベストを尽くしていきたいと思う。本日はありがとうございました。				
要約レポート	昨日の開幕戦を落とし勝利が欲しい群馬グリーンウイングスと、本日が初戦となるフォレストリーヴズ熊本との対戦。第1セット、1点ずつ取り合う展開が中盤まで続く。群馬のセッター松尾は速いトスでアタッカーを操り、熊本のセッター向井はネットの幅一杯を使った攻めで応酬する。17-16と群馬1点リードから黒が連続でスパイクを決めて抜けた。群馬は終盤のメンバーチェンジも差が縮み、最後は藤井の強打でセットを先取る。第2セット、群馬が黒のスパイクとブロックで先行するが、熊本も安田のスパイクで1点差に迫る。中盤は両チームとも好レシーブから手に汗握る激しい戦いとなり、群馬は白岩、熊本は近藤、入江がスパイクを決めてどちらも譲らない。一進一退の攻防が続くが、向井のブロックからブレイクポイントを重ねて抜けた熊本が黒のスパイクと安田のブロックポイントでセットを奪い返す。第3セット、群馬が藤井のスパイクでリードするが、熊本も入江のスパイクで応戦する。中盤、熊本は川口のプロックと新谷のサービスエースなどで4点連取するが、群馬は小林、白岩のスパイクで5連続得点して熊本を突き放し、最後も白岩のライトからのスパイクでこのセットを取る。第4セット序盤は、点の取り合いから、藤井のスパイクで長いラリーを制した群馬のペースとなり、白岩のスパイクでリードを広げた。中盤では交代が入った群馬ハンタヴァがブロックとスパイクを決める。終盤、熊本は入江がスパイクを決めるが、群馬は角谷の好トスから黒がスパイクを決め、最後は安福がブロード攻撃を決めて3-1で勝利した。				

試合番号 :	656	試合会場 :	上田自然運動公園総合体育館	観客数 :	472
開始時間 :	14:40	終了時間 :	16:06	試合時間 :	01:26
主審 :	菅原 潤	副審 :	立花 法真沙		
ルートインホテルズブリリアントアリーズ	通算 2 勝 0 敗 ポイント : 6	25 第1セット 11 25 第2セット 21 33 第3セット 31 第4セット 第5セット	3	0	JAぎふリオレーナ 通算 1 勝 1 敗 ポイント : 3
監督コメント	開幕2連勝！この喜びを皆様と味わえたこと本当にうれしく思います。3セット目のスタートがうまくいかず、JAぎふにリードされてしまいましたが、この夏から力を入れてきたサーブで相手のリズムを崩せたことで勝つことができました。これから全員一丸となって全力で戦い抜きます。ご声援よろしくお願いたします。				
監督コメント	本日も応援ありがとうございました。出だしからサーブレシーブが安定せず、サイドアウトが取れず、苦しい試合でした。高い相手に対してこちらが低い所でバレーをしてしまったのも大きな敗因です。しかし3セット目終盤、途中出場の選手はしっかりと仕事をしてくれました。修正箇所は明確なので、しっかりと修正し次戦に臨みたいと思います。				
要約レポート	ともに昨日の今季開幕戦で白星を挙げ、連勝を狙うルートインホテルズブリリアントアリーズとJAぎふリオレーナとの対戦。第1セット、ルートインは村山がスパイクを決めてリズムをつかみ11-4とリードする。JAぎふは選手交代で流れを変えようと試みるが、ルートインは黒鳥のサービスエースと山村の連続ブロックでさらに差を広げ、平原、神田のブロックポイントでJAぎふの攻撃を封じる。最後は平原のサービスエースでルートインが第1セットを先取る。第2セットもルートインの勢いは止まらない。神田が速攻とブロックで活躍しルートインが10-1とリードする。ここからJAぎふは高石、水野の巧みなスパイクと塩崎のブロックで反撃し追い上げる。終盤には石倉のスパイクとサービスエースでさらに点差を縮めるが、村山の強打でルートインがセットを連取する。第3セット序盤、JAぎふが威力のあるサーブでルートインを圧倒する。JAぎふ三宅のサーブから水野、高石がスパイクを決め、さらに高石、石倉のサーブでブレイクを重ね13-7とリードを奪う。中盤、ルートインは神田のサーブを起点にサービスエースと黒鳥、村山のブロックなどで8連続得点し逆転するが、JAぎふは選手交代で粘りをみせ、デュースへもつれ込む。ルートインは交代が入った中田がスパイクを決め、JAぎふは塩崎がスパイクとブロックでポイントして熱戦が続く。手に汗握る熱戦はルートイン村山のダイレクトスパイクで決着し、ルートインがストレートで連勝した。				

試合番号 :	657	試合会場 :	たつの市立龍野体育館	観客数 :	748
開始時間 :	11:00	終了時間 :	12:45	試合時間 :	01:45
主審 :	上村 英紀	副審 :	清水 弘也		
プレス浜松	通算 1 勝 1 敗 ポイント : 4	25 第1セット 21 25 第2セット 12 22 第3セット 25 25 第4セット 16 第5セット	3	1	GSS東京サンビームズ 通算 0 勝 1 敗 ポイント : 0
監督コメント	前日の敗戦をバネに全員が意欲を高めて今日の試合に臨みました。立ち上がりからサーブで攻めて、プレス浜松らしいバレーができたと思います。途中から入った選手も機能して全員で戦い切ることができました。引き続き頑張ってもらいますので応援よろしくお願いたします。				
監督コメント	開幕戦にご尽力をいただいた皆様にもお礼を申し上げます。新チームで臨んでの初戦でしたが、第1セット、第2セットともにプレス浜松のサーブで崩されて攻撃の選択肢が限られてしまいました。今日の敗戦を無駄にせず、次戦に向けて調整したいと思います。遠方まで応援にお越しいただいたファンの皆様、ありがとうございました。				
要約レポート	開幕2日目の第一試合は開幕初戦を迎えるGSS東京サンビームズと、昨日惜しくも黒星となったプレス浜松との対戦となった。第1セット序盤、GSS東京は野嶋の2連続サービスエースやスパイクで12-10とリードする。これに対し浜松は若泉の強烈なサービスで相手を崩し、連続ポイントで18-14と逆転し、最後はリードを守った浜松が25-21とセットを先取した。第2セット、浜松はセッター森本の長身を活かした巧みなセットアップと丸山のセンターからの攻撃でリードする。中盤、GSS東京の連続ミスもあり、勢いに乗る浜松が25-12とセットを連取した。第3セット、反撃を図りたいGSS東京は、望月のスパイクポイントや4連続サービスエースで一気にムードを掴み10-6とする。浜松は早川、大谷のスパイクで反撃するが、GSS東京が序盤のリードを守り25-22でセットを奪い返した。第4セット、序盤から1点1点を取り合う展開となった。中盤、浜松が若泉の強烈なスパイクやフェイント攻撃で20-13とリードを広げた。GSS東京も望月のスパイクで反撃したが力及ばず、セットカウント3-1で浜松が1勝目をあげた。				

試合番号 :	658	試合会場 :	たつの市立龍野体育館	観客数 :	748
開始時間 :	14:00	終了時間 :	15:17	試合時間 :	01:17
主審 :	長崎 有紗	副審 :	矢野 侑理		
ヴィクトリーナ姫路	通算 2 勝 0 敗 ポイント : 6	25 第1セット 22 25 第2セット 15 25 第3セット 11 第4セット 第5セット	3	0	リガーレ仙台 通算 1 勝 1 敗 ポイント : 2
監督コメント	1セット目は相手のスパイクに対応できるまで、少し時間がかかり自分たちのリズムを作ること苦労した。2セット目以降、主導権を握りよいパフォーマンスが発揮でき、スパイクの決定率も上がった。開幕2連勝でよい週末となった。2日間にわたる開幕ホームゲームでの多くの方の応援ありがとうございました。				
監督コメント	素晴らしい環境にて開幕2連戦を戦えたことに心から感謝申し上げます。第1セットは、序盤からサーブとブロックが機能し、トランジションアタックから得点するという展開に持ち込めていましたが、終盤にはヴィクトリーナ姫路の地力に押し切られる形でセットを失ってしまいました。第2・3セットは、ヴィクトリーナ姫路の強固なブロックに終始阻まれ、一方的な展開となり連続でセットを落とす形となりました。本試合で露呈した課題・修正点を整理し、より強いチームになれるように引き続き精進して参ります。本日は応援いただきありがとうございました。				
要約レポート	ヴィクトリーナ姫路のホームゲーム2戦目は、昨日フルセットの末に勝利したリガーレ仙台との対戦。第1セット、仙台の加藤（優）が緩急をつけたサーブで相手を崩し、リードを奪う。姫路は徐々に点差を詰めるが、仙台は小松のサービスエースや加藤（優）のブロックで再び点差を広げる。終盤は姫路の連続得点により、逆転でセットを先取る。第2セット、互いにサイドアウトの応酬となるが、次第に姫路のスパイクやブロックが決まりだしリードを奪う。仙台も粘り強い守備を見せるが、終盤は姫路の宮部が連続でブロックポイントを決め、点差を広げる。最後は、地元つたの市出身の野津がサーブで相手を崩し、チャッチュンがダイレクトスパイクを決めて姫路がセットを連取する。第3セット、仙台は姫路のチャッチュン、宮部の高いブロックにつかまり、姫路が序盤から大量リードを奪う。仙台は佐藤のノータッチサービスエースなど連続得点を奪うが、姫路の勢いは衰えずセットを取りきり、ホームゲームで開幕2連勝となった。				